

二俣城跡

築城は文亀3年(1503)、今川氏の臣・二俣昌長によると伝えられる。北遠の戦略要地であったことから戦国時代を通じて争奪戦が展開された。二俣川と天竜川に挟まれた難攻不落の城として知られ、武田信玄軍による水の手攻めは有名。現在も野面積みの石垣を残す天守台や土塁などが往時の面影を忍ばせる。

浜松市天竜区二俣町二俣
交通／遠州鉄道「西鹿島駅」から山東行バス「鳥羽山公園入口」下車徒歩10分
天竜浜名湖鉄道「二俣本町駅」から徒歩約20分

深き絆の城

戦国時代を通じて、激しい争奪戦が繰り返された北遠の要衝。この城には家康公と井伊家との浅からぬ因縁が刻まれている。

悲劇の城、二俣

二俣城には、家康公にとって大きな悲劇が刻まれている。きっかけは長男・信康公の妻の徳姫が、その父・織田信長公に送った十二万条の訴状。信康公は母である築山殿と共に武田氏への内通を疑われ、信長公から厳しい処断が下された。築山殿は佐鳴湖東岸で殺害され、信康公は天正7年(1579)城中で自刃したと伝えられる。これには諸説あるものの、家康公にとって生涯忘れられない出来事だったはずだ。

家康公との絆

実は築山殿は直虎公にとって大叔母の娘で、信康公も縁戚にあたる。家康公にとって、徳川家に4



大手門の跡。難攻不落の城といわれた面影を感じる



二俣城跡から北東に約500メートルのところにある信康山清瀧寺(しんこうざんせいりょうじ)。信康公の御霊を供養するため家康公によって建立、命名されたという。信康公の墓所「信康廟」がある

直虎 新商品

直虎 遠州錯乱 戦弁当

1080円

竹皮の弁当箱に筑前煮の竹槍串、直虎印の玉子焼き、遠州の素材を使った太巻き4種、オリジナルの浜松唐揚げ(浜納豆の鶏唐揚げ)などアイデア料理が満載。戦国時代の旅人の気分を楽しめるよう、箸がなくても食べられるように工夫されている。

【取扱店】

(有) 竹泉 (電話予約受付)

天竜浜名湖鉄道 天竜二俣駅売店(土日祝のみ販売)

【取扱事業者】(有) 竹泉 浜松市浜北区内野2457

TEL 053-586-5123 <http://www.chikusen.jp/>



年前に仕官したばかりの直政公は悲しみを共有できる唯一の家臣だったのかもしれない。これ以降、家康公は天下取りの道を邁進。直政公は徳川四天王のうちで最年少、しかも唯一、三河出身ではないにも関わらず筆頭の出世頭となる。もしかしたら家康公は、直政公に己の長男・信康公の面影を見ていたのではないだろうか。